

2026年度常設展第2期

なつ

夏コレ？ —あぶらえ ちようこく
油絵から彫刻まで—

てん じ

展示をたのしむ
ワークシート

ぜん き

前期(6/30-8/2)

ねん

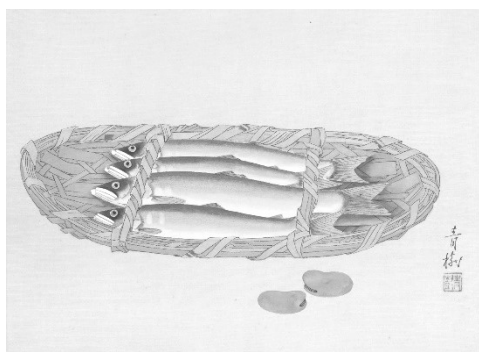
くみ

なまえ

1

小茂田青樹《初夏》には、あゆ(魚)が入ったざると、そらまめが描かれています。どちらも、初夏が食べごろです。

いっしょに食べたり飲んだりしたいものを、まわりにかいてみよう。



小茂田青樹《初夏》 1931年頃 ※前期のみ展示

2

いのくまげんいちろう フェイ シ ズ
猪熊弦一郎《FACES》

シリーズには、たくさん

の顔があります。

作品の中の「目」を、で

きるだけたくさん、まね

してかいてみよう。

ここにかこう



3

いわさき かつ ひら ゆう そら か
岩崎勝平《夕空に馳ける》の、それぞれの
ぶ ぶん かん さつ
部分がどうなっているか、よく観察して、
した か
下に書いてみよう。



岩崎勝平
《夕空に馳ける》
1934年

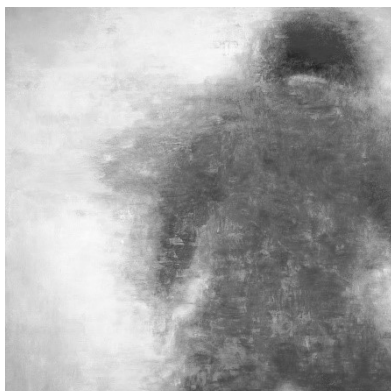
2人の女の子

- かみがた
- ふくそう
- ポーズ、手や足

そのほかに、気がついたこと

4

なが さわ ひで ゆき おお ちい
長沢秀之《大きいコドモ》《小さいコドモ》は、同じ作者が、同じ年に描いた
さく ひん きょうつうてん おな に か
作品です。共通点(同じところ、似ているところ)をさがして書いてみよう。



長沢秀之《大きいコドモ》2008年



長沢秀之《小さいコドモ》2008年

5

みやざわ こうぞう ちい もり こ いろ いろ
宮澤光造《小さな森》には、濃い色と、うすい色
の部分ががあります。

ひょうげん かんが
どうやって表現しているか、考えてみよう。



宮澤光造《小さな森》 2010年

こたえの番号を右に書いてね。 ➡

- ① 絵の具で、色を変えている
- ② うすいシートをはりつけて、色を変えている
- ③ ほり方、みがき方で、色を変えている

こ た え

6

ちょうこくさくひん てん てん じ
彫刻作品が5点、展示されています。

てん えら いちばん かくど み え
1点を選んで、一番かっこいい角度を見つけて、絵であらわそう。

さくひん めい
作品名

↓ ここに絵をかこう！ ↓



この展示室のなかで、いちばん「何コレ？」と思った作品の作者にあてて、
作品への質問を書いてみよう。

さま さく しゃ めい
様（作者名）

さく ひん めい
（作品名）について

しつ もん
質問します。

右の二次元コードから、インターネットで質問を送ってくれたら、
美術館のホームページ（「夏コレ？」のページ）に、質問と回答がのるかも？
（亡くなった作家への質問は、学芸員が代わりに答えます）



<https://logoform.jp/form/6bSV/1663207>

令和8年度常設展2期「夏コレ？ —油絵から彫刻まで—」展示をたのしむワークシート【前期】

会期：令和8年6月30日（火）～8月2日（日）会場：川越市立美術館 常設展示室

発行：川越市立美術館 〒350-0053 埼玉県川越市郭町2-30-1

※掲載作品は、すべて川越市立美術館の所蔵です。